

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第58号 発行日2008年7月25日

Contents

福岡でフォーラム。次は金沢で	1
福岡フォーラムの内容	2
福岡市長。「梨庵」三人娘	3
霞が関情報「西阪審議官」	4
観光人国記「大津市長、女将」	5
立教支部ツアー。海洋功労賞授与	6
世界遺産「イエローストーン」	7
城下町・松山。NEWSPOT中之島	8
新木・北経連会長。COLUMN	9
お得な情報「世界美味しい話」	10
提言「観光と感情」。イタリア通信	11
お天気「猛暑対策」。会員名簿	12



福岡の7月を彩る「博多祇園山笠」は700年以上の伝統を誇り、国の無形民俗文化財。5月の「博多どんたく」と並ぶ福岡・博多の二大祭り。「オッシュョイ、オッシュョイ」の掛け声は、1996年に日本の音風景100選に選定。7月15日、現場で聞いた掛け声は「オイッサ、オイッサ」だった。(杉行夫撮影)

巻頭言

九州の豊かな観光資源で経済発展を 7月14日「観光立国フォーラム in 福岡」開く

NPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」(松尾道彦理事長)は、7月14日午後2時から福岡市中央区天神のソラリア西鉄ホテルで、「大九州圏の豊かな観光資源で経済発展を」(観光立国フォーラムin福岡)を開き、約200人が参加。朝日新聞などが取材、15日の紙面で紹介した。

吉田宏・福岡市長、福本啓二・九州運輸局長の来賓挨拶のあと、フォーラムに移り、国土交通省の大野海事局次長、JR東海の須田相談役、九州新幹線建設局の元木局長が講演。(2Pに紹介)

須田氏からは編集責任者として発行した本「産業観光100選」が無料進呈され、会員の大塚ベレジから今回も飲み物が無償で提供された。

9月に北陸新幹線や観光振興でシンポ 金沢でJN協会と郷土発展振興会が開催

JN協会と郷土発展振興会(加藤愛恵会長)は、9月11日正午から金沢市の「ホテル金沢」で、石川県など北陸の観光振興と街づくりのためのシンポジウムを開く。松尾理事長、魚住北陸支部長(北陸鉄道社長)の主催者挨拶に続き山出金沢市長、新木北陸電力会長が来賓挨拶の予定。このあとシンポジウムに移り、佐藤セレックス代表取締役、細川北陸LPGハイブリッド車普及促進協会理事長、加藤会長が観光振興や住みよい街づくりについて講演。またJR東海の須田相談役が北陸の観光資源の活用策について提言し、山崎北陸新幹線第2建設局長が北陸新幹線の長野・金沢間の工事の進展状況や開業の見通しについて講演する。

北陸新幹線は平成26年度に長野・金沢間が開業し、首都圏と北陸が超高速鉄道で結ばれ時間の大幅短縮によって人と物の交流が活発になり、その経済効果が大きいと期待されている。

10月には神戸で、11月は札幌でフォーラム

このフォーラムの日程等は、9月号で紹介します。



もっと海を活用しよう

「九州の海と観光振興策」

大野・国土交通省海事局次長



日本は四方を海に囲まれていて海なかりせば、発展は無かったです。九州は、もっと海と縁が深く、その活用策を考えなくてはならないと思います。

日本の海岸線は長く、離島を含めた経済水域は、世界で6位の“大国”です。水産資源だけでなく、海底に眠る鉱物資源を考えると、もっと海を大切にしなければいけないのです。

ところが、我が国の海対策は不十分です。税法をみても、海運で1000億円稼いだ場合外国では30億円しか税金が取られないのに、日本では400億円も税で持っていかれます。これでは、国際競争力が失われるのは当たり前です。船員不足、高齢化も問題ですし、造船技術者も同じ状況です。私たち行政サイドでは、こうした事態を踏まえ、もっと改善策を打ち出したいと考えています。

さて、九州と海について触れましょう。

九州は、日本でもっともアジアに近い地域です。その優位性を観光に生かすには、海の活用が欠かせません。事実、いまでも九州にやってくるアジアの人たちは半分以上が海上経由です。しかも、北陸の港湾と比べ、伸び率が大きいことが特徴的です。

団体旅行主体の時代は終わり、個人旅行が盛んになってきました。そんな中で、ゆったり旅ができる船の利用は、もっとも増えなくてはならないと思いますし、増えていくことは確実です。

(「皆さんの中で、今年2時間以上船旅をした方はいますか」との問いかけにゼロ回答。)これではいけません。船旅が面白いということをもっと認識してください。海から見た日本の景色100選に、九州は23も入っているのです。鹿児島の開聞岳、長崎

の軍艦島など、素晴らしい景色があります。

瀬戸内海のクルーズは、世界最高ともいえましよう。ぜひ、皆さんも試してみてください。九州の皆さんは、こうした資源を、海の活用でフルに生かしてください。

観光振興と環境対策、九州新幹線で

「九州新幹線全線開業と経済効果」

元木・鉄道運輸機構九州新幹線建設局長



九州新幹線の博多～鹿児島間の全線開通は平成22年(2010年)度末ですが、工事は順調に進んでいます。

博多駅の大改装をはじめ、博多～八代間に造られる6つの駅舎は、それぞれ工夫が凝らされた特徴のある建築物になるはずで

です。もう一つ。急勾配をクリアーするのも、九州新幹線の目玉です。これまでは、1000^{mm}で15^{mm}の勾配を原則としていましたが、800系の新型車両の採用で、35^{mm}という急勾配がOKとなります。

時間短縮効果は、最大の売り、です。かつての従来線で3時間40分かかっていたのが、1時間20分へと劇的なものとなります(現在は鹿児島中央～新八代間の新幹線との乗り継ぎで2時間12分)。時間当たりの賃金で換算すると、大きな経済効果となるでしょう(須田氏によると、東海道新幹線では2000億円の効果 編集部注)

もう一点、環境対策にも大きな効果をもたらします。全線開業のあかつき、鹿児島～博多間で航空機が使われなくなり、マイカー利用も減ると考えますと、CO₂が年間43000トン、今より36%減ると試算できます。新幹線が、環境重視時代の乗り物と言われるゆえんです。

博多～鹿児島が新幹線で結ばれると、九州全土が日帰りもできる観光圏になるはずで

です。地域振興に大いに役立てて下さい。(文責・加納)

ストーリーのある観光を

「地域の特色を活かした資源の活用」

須田・東海旅客鉄道相談役



九州の観光資源を、自然、歴史、産業の面でみると、いくつかのストーリーができる。

まず、自然。阿蘇、桜島、雲仙の火山は、それぞれが本州の火山帯に連なっている。海流も日本海流と対馬海流があり、両方を見ると違いが目立つ。

歴史観光資源と言えば、天皇家の古里とも言える古墳群、遣唐使、遣隋使の時代そして鎖国時代に海外の窓口となった長崎、平戸など、日本でも他に見られない海外との結びつきが観られる。天草、五島列島などに残るキリシタンの痕跡や教会群などもそう、全てが、国際的な歴史観光資源といえよう。

産業観光については、私が提唱して10年になるが、お配りした本「産業観光100選」にも九州の例を多く紹介している。石器、土器、陶磁器などは、大陸とのつながりを示しているし、幕末の薩摩、鍋島が手掛けた大

砲、軍艦などの洋式工場の遺跡、当時の八幡製鉄東田高炉、明治時代に本格化した炭鉱、なかでも三池の港湾施設跡、いずれも日本産業の原点でもある。

これまでの観光は、自然にしても遺跡にしても、一度観れば、「それまでよ」だった。

これからは、地元の人たちが九州が観光資源の宝庫であることを認識、ストーリー性のある観光を全国に向け、発信していただきたい。そしてリピーターを増やす、ここに九州観光振興のカギがある。

『九州・アジア新時代の交流拠点都市に』 福岡市長・吉田 宏(よしだ・ひろし)氏



1956年9月生まれ。福岡県出身。
1980年慶応大学経済学部卒。
同年西日本新聞社に入り、2003年
に同社経済部長を経て、06年12月福
岡市長に初当選。

人口140万人を超した福岡市がいまアジアのゲートウェイとして飛躍しようとしている。福岡市は2011年を目標にした「アジアゲートウェイキャンペーン2011構想」を発表、福岡、釜山の連携を核とした中国の各地域（大連、広州、上海など）との交流を深めようとしている。観光交流の推進により、経済、文化、市民レベルでの多様な相互交流が活発化するとみている。吉田宏市長は「特に釜山市とは太いパイプができており、昨年は釜山市長と四回も会った。韓国人観光客はウォン高もあって増えている。中国人の観光客にもたくさん福岡を訪れてもらおうと、ショッピングに便利な銀聯カードが使えるよう整備している」。

港湾施設の整備も着々と進んでいる。博多港北部に400ヘクタールの人工島を建設する「アイランドシティ」は今年秋に一部が完成、国際コンテナが効率的に取り扱えるようになり、アジアに最も近い中枢国際港湾としての地位がさらに向上しそうだ。また今年から大型クルーズ客船が博多港にも立ち寄るようになり、外国人観光客約2万人が福岡市を訪問しそうだ。クルーズ船での観光客は富裕層が多いのでショッピングなど経済効果が見込めるとみている。

九州新幹線の鹿児島ルートが2011年春に博多から鹿児島まで全線開通する。吉田市長は「鹿児島ルートが全線開通すれば九州全体の観光PRにも役立ち、福岡市の都市機能を九州の縦軸として呼び込めるのではないかと」と開通による波及効果を期待している。「どうすれば呼び込めるか鹿児島市とも連携して進めており、現在、鹿児島市の職員が福岡市に来て検討を進めている」。

福岡市はエンタテインメント都市としても魅力にあふれている。吉田市長は「福岡市には野球、サッカー、大相撲、ミュージアム、博多座（歌舞伎）、中州のナイトライフなどほかの都市にはないエンタテインメントがいっぱいある」と話す。ショッピングモールとして注目されてきた中心地にある商業施設「キャナルシティ」の次の構想「第二キャナルシティ」が浮上してきており、この中核施設にディズニーランドの屋内施設を誘致しようというプランもある。今年、英国の雑誌「MONOCLE」が福岡市を「小売業ナンバーワン都市」に選定した。商業

の中心都市として福岡市はさらなる発展が見込めそう
で、観光都市としても確たるプレゼンスを発揮している。
(JAPAN NOW編集部・中西)

美人三姉妹が「いらっしやいませ」 博多・祇園の小料理屋『梨庵』

スラッとモデルのような三人娘に「いらっしやいませ」と声を揃えられると、ドギマギする。ここは福岡市博多・祇園の博多署のまん前にある『梨庵』。

写真は、まん中がオーナーママの高山梨花さん。左が双子の姉・黒岩美



花さん、右隣が長姉の高山明子さんである。

かつて博多署裏で店を開いていた。昔高い視聴率を稼いだテレビドラマ「事件記者」(古いですねえ、筆者の歳が知れます)よろしく、マスコミ記者連中の溜まり場の店だったそうだ。

その後、2年前に現在地に移った。「警察署の前ということで、お客さんが気にしはしないか心配でしたが、逆に“安心だよ”と言われていました」と梨花さん。水商売にありがちな、怖い兄さんの出入りがないからだろう。博多署との直通電話が設置されていることも安心感をもたらす。

売りは、北九州出身の板前さんが地元の魚を中心に造る博多料理だが、もちろん三姉妹の笑顔が最大のご馳走だろう。“樋口一葉”一枚で、十分楽しめるとあってサラリーマンのお客も多いそうだ。

梨花さんと美花さんは、若いころ(未成年?)から客商売が好きだったそうで、「親から小遣いもらったことはありませんでした」と口を揃える。

趣味は、と聞くと「旅行ですが、それよりもお客さんと接し、お話をすること」と、お三方。根っから客商売に向いているよう。美花さんのご主人も店のお客だったそうで、美花さんは今、単身赴任中とか。週末など、ご主人が駆けつけてくるとのこと。

一人一人に、博多と店のPRを聞いてみた。

梨花さん「博多は一生住みたいところ。コンパクトですが、なんでも揃っている街です。店はピチピチ三人揃い、笑顔でお待ちします」。

美花さん「海も近く緑も多い。主人と新居を構えた浜松と比べても、住みよさは上だと思います」。

明子さん「食べ物は美味しいし、博多人は人懐っこい。私たちも人大好き、お客さんとリラックスして楽しめます」。考え方も一緒、口も揃う三人である。

酒肴『梨庵』(りあん) 日曜・祭日休み

福岡市博多区祇園町4-6 平田ビル

電話・FAXとも092-262-1661

東京 電が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

観光立国を支える人たち

観光庁発足は、観光重視の姿勢を内外に示す

2020年に、外国客2000万人構想も

国土交通省官房審議官（観光担当）

西阪昇（にしさか・のぼる）氏

聞き手 阿部和義（JN協会理事）



10月に国土交通省のかねてからの希望であった観光庁が発足いたします。狙いをお聞かせください。

観光立国に向けて国を挙げてやって行く体制ができたということです。今までは国土交通省、外務省、環境省、文化庁、農林水産省といろいろな省庁が観光をそれぞれ担当してきました。こうした各省庁とリンクしてゆく時に観光部よりも観光庁のほうがまとまりやすくなります。観光は外国との観光交流が大きな比重を占めています。対外的にも日本の観光行政に力が入っていることが示されてやりやすくなります。それから観光による地域活性化ということが言われているので、窓口としてやりやすくなります。

組織的にはどのような体制になりますか？

総務課、観光産業課、国際観光政策課、国際交流推進課、観光地域振興課、観光資源課の6課あります。このほかに参事官が2人おり、課と同格な仕事をします。実質的には8課ということです。次長と審議官、観光地域振興部長が長官の下につきます。今までは観光部で総務課の代わりが観光企画課でした。各省庁から人が来ます。現在でも私は文部科学省から来ており、経済産業省からも課長が来ています。民間人の人もJTBのほかにJRなどから来ています。人事交流は盛んになるでしょう。

これからの観光行政の展望を話してください。

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）は成功しています。2010年に1000万人の外国人の観光客をとるという目標は大丈夫でしょう。07年で過去最高の835万人という数字が出ていますから。これをもとにさらに外国人の観光客を増やそうと観光立国戦略会議の牛尾治朗座長が2020年に2000万人という数字を出しています。1000万人の倍ということになると受け入れ態勢を見直さなくてはならないでしょうね。標識、宿泊施設のほかに外国人に不便をかけない体制を作る必要があります。満足してもらおうような「おもてなし」の対応が必要です。各自治体や民間の観光業界の人たちにも意識を変えてもらわなくてはならないでしょう。

日本人が海外に旅行するアウトバンドは増やす必要はありませんか？

日本に来るだけでなく海外に旅行することで相互に理解が深まります。島国の日本に来てもらうには私たちも外に行かなくてはいけないと思います。日本旅行業協会（JATA）は2010年には2000万人の日本人が外国旅行するように「ビジット・ワールド・キャンペーン」を繰り広げています。我々としても各国の観光官庁と協力してゆくことが必要です。

西阪審議官のプロフィール

大阪府生まれ。79年3月京都大学法学部卒。同年文部省入省。滋賀県教委文化振興課長、文部科学省研究振興局学術研究助成課長などを経て03年7月文化庁芸術文化課長。07年1月大臣官房審議官（スポーツ・青少年局担当）。07年7月に現職。52歳。

春田氏が国土交通事務次官に就任

伊藤氏が海事局長、官房長は増田氏

国土交通省は7月4日付で幹部人事を発令した。

それによると、峰久幸義事務次官（旧建設省出身）が退任し、後任には旧運輸省出身の春田謙国土交通審議官が就任し、春成誠海事局長の後任には伊藤茂政策統括官、大口清一鉄道局長の後任には北村隆志総合政策局次長、鈴木久泰航空局長の後任には、前田隆平大臣官房審議官が就いた。宿利正史官房長は国土交通審議官となり、その後任には増田優一都市・地域整備局長が選ばれた。

将来は東京 鹿児島が日帰り圏に
リニアモーターと九州新幹線で

須田寛・JR東海相談役は、7月14日開かれたJN協会主催の「観光立国フォーラムin福岡」での講演で、会場の質問に答え、リニアモーターカーによる中央新幹線構想について触れ、次のように語った。

東京と名古屋を40分で結ぶリニアモーター新幹線は、JR東海が5兆2000億円を負担し、2025年に実現する方向で検討を進めている。できれば、いまの整備新幹線同様、国や地方自治体の負担をお願いしたいところだが、新幹線の函館～札幌路線や金沢～大阪の関係があつて難しく、自前で行くことになった。

今の東海道新幹線は、1時間に「のぞみ」8、「ひかり」2、「こだま」2の計12本が走っていて、パンク寸前。ギリギリ2025年まで何とかかなりそうだが、それ以降はどうしても新線が必要。

将来、リニア新幹線を大阪にまで伸ばすと、大阪にまで乗り入れる九州新幹線とつなげば、東京～鹿児島間が日帰り圏になるだろう。

観・光・人・国・記

源氏物語千年紀で、京都、宇治と手をつなぐ
日本最大の湖「琵琶湖」を観光の軸に

大津市長 目片 信（めかた・まこと）氏



1960年、延暦寺学園比叡山高校卒。同年父親の目片四郎が経営する目片工務店に入社し、1986年に社長就任。

1996年衆議院議員初当選。2004年に大津市長、2008年の市長選にも立候補し、現在2期目である。

大津のお隣の国際観光都市でもある京都市をはじめ、宇治市、それに石山寺を持つ大津市が連携して、現在「源氏物語千年紀」のイベントを展開している。

大津市も「源氏物語千年紀 in 湖都大津」というテーマを掲げ、積極的にこのイベントに、取り組んでいる。

「大津市には、源氏物語の作者である紫式部が、作品の構想を練ったとされる石山寺があるが、この催しを始めて以来、参詣される方々が大幅に増えました」と、この成功を目片市長は喜ぶ。

藤原彰子に仕えていた紫式部は「もっと面白い物語を書いてほしい」と所望されて、琵琶湖のほとりに建つ石山寺にやってきた。そして、源氏物語のストーリーをひろげていった、とされる。石山寺の紫式部がこもったという小さな部屋には、今も多くの観光客が訪れていて、石山寺は今回の3市の催しの目玉の一つでもある。

石山寺では、源氏物語を絵巻物で説明するコーナーを設けたり、映画「千年の恋 ひかる源氏物語」に使われた衣装などを展示したり、「源氏夢回廊」を演出している。

目片大津市長は、「源氏物語もそうですが、もうひとつ大津観光の軸は、琵琶湖です」と強調する。琵琶湖は滋賀県の面積の6分の1を占めていて、日本最大の湖である。楽器の琵琶に似ていることから「琵琶湖」と名付けられた。

大津市の観光資源は、砂浜が美しい近江舞子水泳場をはじめ、比叡山延暦寺、石山寺、三井寺、大津城址など豊富だが、問題はこれらが琵琶湖に沿って点在していることだ。目片市長もこの点に触れ、「琵琶湖の湖岸に横に広がる、観光資源を上手に活用したい」と語る。

今回の「源氏物語千年紀」の催しでも、琵琶湖を巡る白い優雅な観光船「ピアンカ号」上で「源氏物語」をひもとくシンポジウムを計画、参加者を募集するなど、琵琶湖を絡めての、演出を考えながら

観光都市・大津としての発展を意図している。

また、大津市は湖を持っている海外の都市とも姉妹都市の関係を結んでいる。米国ミシガン州のランシング市、スイスのインターラーケン市などがそう。これらの都市との提携関係強化などによる一層の国際化も、今後の課題としてはある。（長宗我部）

癒しの温泉のイメージを強調

個人利用に設計を変え、笑顔で接客

『びわ湖花街道』若女将・佐藤祐子さん

「春は、あけぼの。ようよう白くなりゆく、山ぎは、少し明りて、紫だちたる雲の、細くたなびきたる」。清少納言の枕草子の冒頭の文章である。

この京の都の、山際が白く明けていく朝の風景は、山並みのその向こうにある琵琶湖の湖面が陽光を受けて輝き始めたのを映している様子ではないか、という解釈を聞いたことがある。

都に住む人にとって、琵琶湖は大いに関わりを持っていたし、癒しの湖でもあったと思う。

「びわ湖花街道」は、その琵琶湖の湖畔に建つ温泉宿である。JR湖西線の「おごと温泉駅」「比叡山坂本駅」を最寄り駅としている。

『びわ湖花街道』の若女将の佐藤祐子さん（写真）は、琵琶湖の水底から、ずっと浮かび上がってきたように、清楚で美しい。

「笑顔での接客に心がけています」という若女将。「お客様をおもてなしする喜びを心から従業員が持っていることが大切です」とも。

おごと温泉は、今から1200年前に伝教大師、最澄が開いたといわれる歴史のある場所でもある。ところが、「雄琴」が特殊浴場地域として全国に知られるようになって、本来の温泉としてのイメージが消えていった。

「宿のイメージを、家族設計に大きく変えて、癒しの温泉として、今は展開しています」と、若女将。キャッチフレーズも「おごと温泉 浪漫あふれる水都（みなと）の宿」とした。

すべての客室から琵琶湖が眺望できるようにして、料理も近江牛を生かして特徴を出した。客室の回転率も順調に伸びている。（長宗我部）

『びわ湖花街道』

〒520-0101 滋賀県大津市
雄琴 丁目1-3

リ-ダ イル : 0120-051-041

E-mail : nfo@hanakaido.co.jp

TEL : 077-578-1075

FAX : 077-578-1011



The report of Rikkyo activities.

調布・深大寺ツアー

Nuggets Of Hospitality

三嶋 千晶

5月10日、調布の自然と歴史に触れる、をテーマにツアーを行いました。当日は小雨のちらつく中でしたが、ツアー進行の妨げになるような支障はありませんでした。参加して下さった外国人ゲストの方は7人、私達ホストは5人でした。

まずは神代植物公園に向かいます。ボランティアガイドの方に園内の案内をお願いしました。バラはもちろん、ハンカチの木、バナナの匂いのする花、葉の裏にメッセージを残せる木などなど様々な植物に関する知識を深めることが出来、担当して下さったお二人とも気さくな方で、とても興味深いお話をきくことができました。ゲストさんも「植物園がとても楽しかった!」と仰って下さいました。

昼食に深大寺名物のお蕎麦を頂いた後、深大寺を



参拝しました。縁結びで有名ということで皆意識して五円をお布施にしていました。

次に今回のツアー最大のイベント、陶器の絵付けを行いました。

翌日が母の日だったこともあって、お猪口やマグカップなどお母さんへのプレゼント作りに皆真剣な表情で筆を握っていました。最後に近くのお茶屋さんでお菓子を頂き、完成した作品を持って皆で写真撮影です。

今回のツアーで私が強く感じたのは、例えば楽焼の絵付け体験のような「体験型観光」の持つ力でした。寺社の見学などではどうしてもゲストが客体となりホストが働きかけるといった構図が出来てしまうように思えるのですが、工芸体験などにおいてはホストもゲストと同じように主体的に参加することが出来、より強く印象に残るのではないのでしょうか。またホストとゲストが「体験者」として同じ位置に居るので、会話などの交流も盛んに行われているように思います。完成した作品が形として手元に残るのでお土産にも良いでしょう。

生憎の雨でしたが、植物公園名物の薔薇も綺麗に咲いていてとても幸運でした。調布・深大寺周辺は緑が多く、伝統的な様式の建築物が軒を並べているほか、水車などもたくさん見られました。ゲストさんたちには「東京じゃないみたいだ」「自然が多くて良い。また来たい」ととても好評で、私もまた訪れたい観光地のひとつです。

初の「海洋立国推進功労賞」決まる 海洋基本法の成立、基本計画策定に合わせ

国土交通省は、海に関連して功労のあった団体、人を表彰する『海洋立国推進功労賞』を創設し、海の日(7月21日)に表彰した。これは、昨年制定された海洋基本法に基づき今年3月策定された海洋基本計画の精神を生かした賞である。

以下、表彰者とその功績を簡単に紹介する。

(海洋立国日本の推進に関する特別な功績)

・京都府立海洋高校

平成2年、全国に先駆けて学校名に“海洋”を取り入れ、海洋教育の強化を進めた。将来の海洋スペシャリストの育成に資する。

・栗林 忠男(慶応大学名誉教授)

海洋に関する総合的な政策の必要性を強調し続け平成19年の海洋基本法制定、基本計画策定に助言し、取りまとめ役を務めた。

・小森 陽一(作家)

「海猿」などの作品で、海の安全や治安問題の重要性、これに関わる官民の取り組みについて国民の意識、理解の増進に貢献した。

・湯原 哲夫(東大教授、海洋技術フォーラム代表幹事)

海洋産業立国の重要性を訴え、平成17年に「海洋技術フォーラム」を結成。海洋基本法、基本計画等に提言。

(海洋に関する顕著な功績)

・青木 太郎 海洋に関する科学技術振興

日本初の水中無人探査機「ドルフィン3K」、深海探査機「かいこう」、自律型巡航探査機「うらしま」を開発。

・象潟水産学級 - 水産部門

漁獲が激減した「ハタハタ」の資源復活を目指し古い網等を利用して「ハタハタ」の産卵場を造るなど、水産業の振興に寄与している。

・岡崎 邦夫 - 海事部門

昭和41年、世界初の20万トンの級タンカー「出光丸」の建造に大きな役割を果たしたのをはじめ、純国産技術によるLNG船を開発。

・内田 至 - 自然環境保全部門

昭和30年代からアオウミガメの保護などの研究を進め、現在の名古屋港水族館長としても、海に棲む哺乳類の飼育・繁殖について実績がある。



かいこう



原油輸入国の命綱・大型タンカー

「世界遺産」物語・・・

イエローストーン

近藤 節夫

イエローストーンはアメリカ（世界）最初の国立公園にして、世界最大の活火山である。遙か人里を離れ、それがゆえに名を知られた大都会とのアクセスには、かなりの時間を要する。慌しい日本人旅行者があまり訪れない理由のひとつである。

しかし、このイエローストーンほどアメリカ人から愛されている観光地は他に例を見ない。ナイアガラ、グランド・キャニオンと並んで、アメリカ人が憧れる3大観光地のひとつと言われる所以である。

イエローストーンは広大な敷地内に山河あり、谷あり、滝あり、温泉あり、植物ありで、そのうえ豊かな自然の風景が抜群に素晴らしい。近くにはアメリカ大陸の分水嶺であるロッキー山脈や、敷地内を車で飛ばせば、すぐ映画「シェーン」の舞台として知られるティートン国立公園にも入ることができる。その中で何と言っても訪れる人びとを惹きつけるのは、ズバリ、野生動物の生態である。公園内のそこかしこで沢山の野生動物にお目にかかる。

バッファロー、エルク（鹿）、グリズリー（熊）、ムース（ヘラ鹿）、マウンテン・ゴート（ヤギ）、野鳥、等がそこらじゅうを自由に動き回っている。人が襲われることもしばしばあり、夜の一人歩きは禁じられている。



右端が筆者

1986年初めてここを訪れた。自然の絶景や珍しい野生動物は言うに及ばず、高く噴き上げる間欠泉、ぶつぶつ熱湯と泡を吹き出している地獄、そして水量豊富な迫力ある滝に圧倒された。その2年後、イエローストーンは大きな山火に見舞われた。この時消火作業をどうすべきか、連邦政府国立公園局内で大きな論争が巻き起った。ただちに消火剤を空中撒布して延焼を防ぐべきか、或いは自然を犠牲にしてまでもそのまま自然鎮火に委ねるべきか。喧々諤々の議論の挙句に出した結論は、後者だった。自然に委ねることにより、全公園面積の45%を消失する結果となったが、薬剤を撒いて野生動物の子孫を、また植物子種を根絶やしにすることを動植物保護の観点から避けたのである。

そして火災から2年後、再びイエローストーンを訪れる機会があった。野生動物はどうしただろう、植物は全部焼け落ちてしまったのだろうか、と気にしながら4年前とは別のゲートから公園内に入ったとき、最初に目に入ってきたのはエルクが群れをなして走り去る姿だった。樹木は黒く焼け落ち、一部の森林地帯は焦土と化し、見ているだけで涙が溢れ

てきた。しかし、よく見てみるとその地表には新しい植物が育ち、可憐な花を咲かせ群生しているのが目に入ってきた。きっと、新しい息吹が芽生えたのであろう。これが大きくなって、再び大きな樹木に育っていくのだろう。陽が西に落ちると動物の遠吠えが聞こえてきた。近くには、あの恐ろしいグリズリーが健在なのだ。

心配していた野生動物や植物にとっては厳しい試験だったが、幸い生き延びることができたのである。感慨無量の思いで木の香が匂うロッジで静寂の中を眠りについた。

国内クルーズにブームを？

「皆さん、もっと船旅に目を向けましょう」と、福岡のフォーラムで、大野・国土交通省海事局次長が訴えたが、静かにブームの兆しが見えつある。

東京湾の花火見物や夜景を見るクルーズはすでに定着しており、東北の夏祭りや北海道への船旅も盛んになっている。値段の張る海外へのクルーズと違い、比較的安いし期間もそうは長くない。しかも、船内でゆったりできて、宿の心配もしなくて済む、食事もよい。

そうは言っても北海道へは6泊7日など、現役サラリーマンには、休暇が取りにくい日程ではある。そこで、比較的時間があつ小ガネを持っているシニアから徐々に広がっているということのよう。

「海上から見る日本の景色100選」など、世界的な景色を言われる瀬戸内海や、日本をゆっくり巡って海からの景色で、日本を見直す企画はいかが？

ふるさとテレビ3周年記念シンポジウム

ふるさとの活性化を目指し、活動を続けているNPO法人『ふるさとテレビ』（日出理事長）は8月8日（金）午後1時から東京・永田町の憲政記念館で「3周年記念シンポジウム」を開く。会費3000円。

シンポジウムは「今、これから、ふるさとが面白い。ふるさとの元気を語ろう！パート」というテーマで、基調講演は増田寛也・総務大臣。このあと、浅野史郎・慶應大学総合政策学部教授（元宮城県知事）をコーディネーターに、片山善博（慶應大学大学院法学研究科教授）、残間里江子（プロデューサー、コメンテーター）、成毛真（株インスパイア代表取締役社長）、浜美枝（女優）、藤田和芳（大地を守る会会長）の各氏がパネリストとして参加する予定。

福田総理はじめ環境、経済産業、国土交通、農林水産の各大臣、全国知事会長、日本経団連会長、日本商工会議所会頭らが、来賓としての出席を予定している。

シンポジウムの後は、午後3時40分から会場で懇親会を開く予定。

お問い合わせは、事務局（03-5805-2555）まで。

城下町と観光

伊予松山

坊ちゃん列車が松山市内を今も巡る
松平定行が造った3層の堅固な天守閣

堅固な3層の天守閣を擁する松山城を造ったのは、伊勢の国桑名藩から松山城主として入った松平定行である。寛永12年（1635年）のことで、以降松山城はこの松平家が治めることになる。

もともと松山城は加藤嘉明が築城に着手したが、天守閣が地盤の弱い山頂にあったことから、松平定行は松山藩主として、その大幅改築に着手した。

天守閣も、安定さを選択して5層から3層に変え、27の城楼も造った。しかし、当初のこの天守閣は天明4年（1784年）に落雷による火災で一度焼け落ちてしまう。したがって、城郭全部が完成したのは嘉永5年（1852年）のことである。

また、定行は松山が漁港だったことから、白魚の放流を行ったりして、漁業の繁栄にもつづいた。一方、儒学や俳諧などの文化を松山に起こしたのは、4代藩主の定直である。

松山には温泉があり旅行客が絶えない。道後温泉では、朝の6時半にドーンと太鼓が町中に響き渡る。道後温泉本館の開湯を告げる太鼓の音である。

一番湯は気持ちがよくて人気があるので、この太鼓とともにすでに玄関口に列をなしていた温泉客が次々と湯に入る。正岡子規や夏目漱石もこの湯を好んだそうだ。

また、夏目漱石はその作品「坊ちゃん」の中で、松山市内を走っていた列車のことを「マッチ箱のような汽車だ」と書いている。



このマッチ箱列車は、観光用に「坊ちゃん列車」と呼ばれて、松山の城下町を現在も走っている。漱石が松山に赴任してきたころは蒸

気機関車だったが、今の動力はディーゼルだ。

松山の市場にあふれている農産物ではみかんが一般的には知られている。温州みかんをはじめ、いよかん、ぼんかん、はるみなど豊富である。

（参与・長宗我部）

「写真協力・(財)松山観光コンベンション協会」

NEW SPOT

in japan

中之島ABC

川の街・大阪の中心を流れる旧・淀川の大川端へ6月、朝日放送(ABC)の社屋が大阪駅北側から移った。大川に浮かぶ中之島を見渡すウォーターフロントの再開発で、16階建ての免震構造。258席のABCホールは「新婚さんいらっしゃい!」の番組公開収録などで、すでににぎわっている。この地は阪大病院が吹田市へ移転したあと15年間、空いたままだった。敷地の南角に「福澤諭吉誕生地」碑が歴史を刻む。

中之島に架かる玉江橋北詰から東へ1つ目の橋、田蓑橋近くまで「ほたるまち」と名付け、西端からABC新社屋、多目的ホールの堂島リバーフォーラム、2つのマンションと堂島クロスウォークの商業施設が並び、憩いの新拠点を



中之島(川の右側)を見渡す朝日放送の新社屋(左端L字型)

形成する。地下に中之島高速鉄道(株)が整備する中之島線が10月19日開通し、ABC下車駅となる終点・中之島と渡辺橋、大江橋、なにわ橋各駅を加え4つの新駅が登場。その先、天満橋で京阪電鉄本線に入り京都方面と直結する。

中之島のほぼ真ん中、渡辺橋の南詰は、高さ200メートルの超高層ビル建設が始動する。朝日新聞など現在のビル3棟を東西2つの新ビルに建て替える計画。39階の東地区ビルは2013年完成予定で、2~7階に、いまと同じ2,700席規模のフェスティバルホールが50年前開館時の赤色基調の華やかさを再現する。その5年後に西地区41階建てが完成し、中之島風景は一変する。

(写真・文 林 莊祐)

「観光立国と私の提言」

インターネット活用で北陸を売り込む
新木・北陸経済連合会会長に聞く

JN会員 加藤 和子



昨年3月の能登半島地震で昨年4 - 6月には前年比13.7%減と大きく落ち込んだ北陸三県の観光客数は、今年1 - 3月で前年比1.9%減にまで戻ってきた。今回は北陸経済連合会会長として、地方の活性化に取り組む新木富士雄会長（北陸電力会長 = 写真）に書面で北陸地方の観光振興について聞いた。

豊かな自然と文化の香り 北陸は観光資源に恵まれた地方だ。しかし国内外から多くの人々を呼び込むためには、地域の主体的な魅力づくりが不可欠だと新木会長は語る。このため戦略商品の造成や、観光関連事業者の枠を超え、地域全体としての交流促進に取り組むことが重要だと強調する。

一方で、多くの人々が観光情報をインターネットで集めていることからネットを使った情報発信を充実させ、北陸のイメージを高めようと、北経連では、6月から北陸の魅力発信するWEBサイト「知られざる北陸の食」(<http://hokuriku.biz/>)を開設した。

7月からは、さらに移住や定住に役立つ情報を集めたWEBサイト「季(とき)の楽園 北陸暮らし」(<http://www.hokuriku-imageup.org/hokuriku-gurashi/>)を北陸三県と共同で開設するなどネット対応も熱心に進めている。

新木会長は、観光振興には地域全体としての「おもてなしの心」が大切だと語り、訪れる旅行者の方々が、例えば、地元の人達と北陸の生活文化を共有できるといったような、「滞在したい」と思わせる魅力づくりが不可欠だと考えている。

インフラ面での整備も重要だ。7月5日には着工から36年を要した日本海と太平洋とを結ぶ「東海北陸自動車道」が全線開通し、中部圏からのアクセスが向上した。これによって中部圏との物流や産業活動の連携の強化や広域観光の一層の振興が期待できる。北経連では、開通に先立って、平成18年から「広域観光推進委員会」を設置し、「地域資源の発掘調査」や「観光戦略セミナーの開催」などを実施しているという。

新木会長は、他の経済圏との連携を強める上で、「北陸新幹線」の整備促進が重要だとして、白山総合車両基地から敦賀までの工事実施計画が早期に一括認可され、更なる延伸へと繋がっていくことへの期待を表明した。

C O L U M N

赤いバナナ

バナナは誰もが黄色いものだと思っている。ところが、意外なことに赤いバナナもあるのだ。バナナ研究家の国立大の先生も知らないらしい。赤いのは包んでいる皮の部分で、中身までが赤いわけではない。味は普通のバナナよりかえっておいしくらいである。どういうわけだろうか、ビルマ(現ミャンマー)の旧首都ラングーン(現ヤンゴン)から現首都ピンマナ(現ネピドー)方面へ260kmばかり北上した、トウングー地方だけに群生する。



赤いバナナを売る売り子(トウングー駅で)

かつて旧陸軍航空隊の巡拝団に随いてビルマへお供したとき、不意に「あ～、赤いバナナが食いてえな」と誰かがつぶやいた。戦時中戦火の中で食べた赤いバナナの味が忘れられないのだと言う。すると誰も彼もが子どものように「赤いバナナを食いてえ」と言い出し、一瞬にして「赤いバナナ症候群」に陥った。最初にその話を聞いたときには赤いバナナなんて信じられなかった。トウングーは、かつて王朝のあった大きな町ではあったが、いまや史跡は崩落して古都の面影を留めず、ほとんど観光資源がない。外国人が訪れるような宿泊施設もなく、足の便も悪く、普通ではとても訪れる機会のない思い出だけの町だった。「赤いバナナ」は青春の束の間の思い出に終りそうだった。

ところが、いまと違ってネ・ウィン大統領以下当時の政府要人は、日本の陸軍士官学校留学経験を持ち親日的で、帝国軍隊になお憧れと郷愁を抱いていた。彼らは、再三にわたる旧陸軍航空隊の熱望を聞き届けてくれ、その数年後トウングー旧日本軍航空基地へチャーター機を飛ばせてくれた。「赤いバナナ症候群」の元兵隊さんたちは、戦友の慰霊を兼ね30年ぶりに赤いバナナを食べにビルマへ飛んだ。

ラングーン育ちの若いガイドを煙に巻きながら、バスの中でもうわ言のように「赤いバナナ」「赤いバナナ」と叫び続けていた兵隊さんは、トウングー基地へ到着するや呆気にとられているガイドを尻目に「青物市場」へバスを直行させた。市場では早速山積みになっている夢にまで見た本物の「赤いバナナ」にありついた。「戦争中のバナナも旨かったけど、いまは弾が飛んで来ねえからいい」とむしゃぶりついていた無邪気で、平和な光景が忘れられない。あの時の赤いバナナは本当に旨かった。(近藤)

お得な情報

道の駅「内子フレッシュパークからり」

四国・愛媛県の中央部に位置する内子町。道の駅「内子フレッシュパークからり」は、休憩所としてのパーキング、観光情報等の案内、農産直売所やレストラン等、人々をつなぐ交流の場としての道の駅の基本的な施設を整えている。特に内子の農家で採れた新鮮野菜や果実を販売している農産直売所の年間販売額は5億円。利用者は60万人を越え、休日の直売所は長蛇の列ができる程です。これは、農家の女性が「内子あくりベンチャー21」を組織し、農産加工品作りに活発に取り組んだ成果の賜物と言える。直売所での人気は、温暖な気象条件で栽培されたフルーツ、野菜、ハーブを使ったシャーベットアイス



特産物直売所

クリーム。豚肉・フレッシュハーブ、香辛料のみドイツから輸入して作られた本格ドイツのハムソーセージ。地元の完熟トマトを1日ばかりで煮詰めて作った「トマトケチャップ」は無添加。柿農家の手作り柿ようかんは年間3000本販売する人気商品です。特産品販売所の定休日は、1月1日～5日。また「からりフレンド会員」になり、ポイントカードを作ると100円ごとに1ポイント加算、500ポイントで500円分の買い物券と交換の得点がある。

問い合わせ：tel 0893-43-1122
(堤 るり)

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいた「JAPAN NOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。

4月に完成した2008-2009年度版は、日本全国のホテル110館、55,000室の客室に常備されています。



日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって生き生きと伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。2008-2009年度版は150年間にわたり日本の国際交流の窓口であり続けた横浜の過去と現在を紹介する「横浜150年」といまでも日常の生活とともにある神仏の世界を通じて日本人のこころ

のあり方にせまる「素顔の神々」という2つの特集を軸に構成されています。また、巻頭インタビューは、文学者の河野多恵子氏をはじめとしたバラエティあふれるラインアップとなりました。

1部2000円(送料別)で購入できます。お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。電話・FAX 03-3536-1751

「日本で見つけた 世界おいしい物語」

ベージュ アラン・デュカス東京

(フランス料理)

ブランド店が軒をならべる銀座2丁目。2004年にシャネル銀座ビル10階にオープンしたレストラン。シャネルのハードにアラン・デュカスのソフトの組み合わせで最高のエレガンスを演出している店として、今や銀座の顔である。

インテリアやテーブルアクセサリ、スタッフのユニフォームや照明にいたるまで、上品で洗練された趣がある。食事のアートと暮らしのアートを追求するデュカスが、シャネルの歴史と伝統、そして情熱に感動してコラボレートしたといわれている。

ビルのエレベーターのボタンはシャネルのマークが刻印され、入り口にはカトリアが飾られている。テーブルアートにも独特のこだわりがあり、ダイナーにはココ・シャネルが愛したというカエルのオブジェが飾られシャンパングラスも、お酒に弱い日本女性を考えて小ぶりのサイズ。コーヒーカップも、シャネルの定番、ツイード柄がモチーフであり、きめ細かい配慮がされている。

総料理長は、ジェローム・ラクレスニエール氏で、その土地の旬の素材を生かすことを信条としている。ランチは「ラ セゾン」という名称の6品で、そのうち野菜中心の3品のランチがベジタルといって6,000円、海の食材中心の3品が8,000円、6品全部のコースが11,000円で、ワインなどを楽しむと、ランチでもいかに銀座の価格である。ダイナーは3品の17,000円～4品の22,000円。

7月のお薦めは、アラカルトでは「毛蟹とオシエトラ・キャビアにカリフラワークリーム」で北海道産の蟹と野菜のシンプルな味わいが楽しめる料理で7,500円。「グリーンアスパラとモリーユ茸のエチュヴェ」が6,800円。やはり庶民は特別な記念日や非日常の体験として楽しむべきレストランかもしれない。

中央区銀座3-5-3 シャネル銀座ビル10F

電話 03-5159-5500

営業時間はランチが11:30からラストオーダー14:30

ダイナーは18:00からラストオーダー21:30

8月13日から17日と年末年始は休業

(大島 慎子)

【会員募集】

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JAPANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)へご連絡ください。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2008年9月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2008年9月25日。締め切りは9月15日。

NPOから提案します

観光と感情

高崎経済大学観光政策学科教授 寺前 秀一

観光学の研究対象の中心は観光資源である。観光資源は、観光行動を引き起こす刺激を観光者の脳に与え、観光する意欲や感情を引き起こすと考えられる。では観光する意欲や感情はどのように発生するのであろうか。

これまでは、まず「感情」がまず存在し、「感情」を媒介に「知」が発生し、この「知」を操作して「意」を実現しているというのが心の動きであると考えられてきた。しかし近年の研究では、「情動」が先にあり、感情があつたということが解明されている。まず恐怖や異性への好意の情動があり、次に恐怖や好意の感情が発生するということである。感情そのものは生物の進化の過程で発生したもので、感情を持つ生物のほうがより生き延びる確率が高かった。野生環境に話を限る限り、感情と知の対立などという図式はもともと通用しないものであり、夏目漱石の草枕の冒頭の一節は成立しないということになる。この感情概念が拡張されて、遺伝的に基本枠が設定された行動選択・実行用の心的ソフトウェアはより一般的に「アーシシステム」と呼ばれる。このアーシを起動制御するものが「ムード」であり、観光行動に関係すると思われる「喜び」はこのムードである。

脳は、命が依存している無数の身体機能を調整している。そのためさまざまな身体のシステムの状態が刻一刻と表象されるマップを持つ。命の管理にと

って重要なニューラル・マップは感情と呼ばれる心的状態に対する必要な基盤である。感情を支えている神経装置が進化の中でたくましく生き残ったのは驚くべきことである。

「美には生物学的な根拠」があるといわれている。黄金比の美しさを持ち出すまでも無く、美男美女の判断には普遍性があると思われる。種の保存のため、より健康な異性を求めるからである。一方、個人は過去の体験に結びついた「主観的な判断」について示す。芸術の歴史は、この両者が緊張関係を持って絡み合ったものであるといわれる。では、脳のニューラルマップを分析して、観光と分類されるものを客観的に表示することは可能なのであろうか。観光学の成立に関する重要課題である。

あんな話
こんな話

魚から野菜、陶磁器も
通販「金沢屋」が、創業7年に

- 北陸の魚、加賀野菜、麩、焼き物 金沢で採れる銘品
- を選って通信販売をする「金沢屋」がスタートして、間もなく10年を迎えようとしている。地方産品の通販としては、はしりともいえるが、カニや加賀レンコン、五郎島金時など、ファンが多くて商売繁盛のよう。
- JN協会と“同い年”なので、筆者も親しみを感じ「加賀棒茶」など、よく取り寄せる。一度、試してみたいかが？（加納）
- 【金沢屋事務局】TEL 076-232-1139 FAX076-232-1130
- 〒920-0901 金沢市彦三町2-2-18 FIXビル4F
- サイトは「http://www.kanazawa-ya.com」

イタリア通信 その4 ~クルージング~

イタリアのクルージング人口24%増の64万名に

イタリアで客船クルージングの利用者数が急上昇している。ヨーロッパ・クルーズ・カウンシルが先ほど発表した「ヨーロッパのクルージングマーケット」レポートによると、2007年のヨーロッパ全体のクルージング人口は前年比17%増で400万名。国別のクルージング人口は1位が英国で130万名、2位ドイツ76万3千名、3位がイタリアで前年比24%増の64万名を記録している。



人気のコースは地中海クルージングで期間は平均1週間。乗客2000名クラ

スの大型客船がジェノバ、ベネツィア、トリエステそしてローマ近くのチヴィタベッキアなどの港から毎日のように出港し、クロアチアやトルコ、あるい

はギリシャ方面、あるいは北アフリカやスペイン、フランスの港町などを周遊している。

経済不況、消費低迷の中で旅行・バカンス支出を抑える傾向が強まっている中で「一人勝ち」とさえいえる「クルーズブーム」。この背景には「早割り」特別料金の導入に加え、「未成年の子供は無料」という思い切ったマーケティング戦略の勝利とみる向きが多い。両親のキャビンに同室で泊まる限り、子供の部屋代・食事代がかからない。船内にプールやスポーツ施設、様々なエンターテイメント設備を備え、しかも食事は食べ放題と至れり尽くせりのサービスだ。

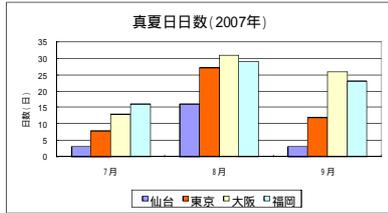
イタリアでは6月中旬に学校が終わり、8月末までが夏バカンスの季節。いまや大勢のファミリー客がクルージングを楽しむシーズンの真っ最中である。

ミラノを仕事場にイタリア旅行情報サイト (www.japanitalytravel.com) を運営するほか、日伊間のビジネスや観光PRのコンサルタントやコーディネートをやっている。この欄ではイタリア各地の観光や地域的话题を紹介してゆきたい。

JAPANITALY.COM社 代表取締役 大島悦子(会員)

猛暑対策

梅雨が明けてからやってくるのは夏です。好天を利用して海水浴や旅行など夏を楽しむ人たちが多くなります。また、農作物には秋の実りのために夏の暑さが必要です。しかし、度を過ぎた高温は招かれざる客です。しかも日最高気温が30度を超えるような真夏日や35度を超える猛暑日となるとうんざりです。東京を例にとると、去年の真夏日は7月は8日間、8月は27日間とほぼひと月、9月も12日間と約半月は真夏日でし



た。猛暑日は7月と9月はありませんが、8月は7日間ありました。夏の猛暑を乗り切るために、私たちができることは、まず十分な睡眠と食事をとり、体力を付けるような生活を心がけ、外出時には日傘を利用して直射日光を避けること。そして水分をこまめにとり、熱中症にならないよう対策をとることが大切です。また、睡眠時にはエアコンの活用もいいですが、地球環境のことも考慮し、水まくらや扇風機を利用した省エネで乗り切りたいものです。

忘れがちなのがベビーカーに乗っている小さなお子さんのことです。直射日光に加え道路からの反射熱も加わり、苛酷な環境におかれます。子供さんと一緒に買い物や旅行時には細かな暑さ対策を心がけましょう。(日本気象協会 金野 雅之)

会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

- 名譽顧問 : 松山善三(映画監督)
 理事長 : 松尾道彦(日本海事センター会長、前日本鉄道建設公団総裁)
 顧問 : 丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング顧問)
 副理事長 : 白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(株)JALUX特別顧問、大島慎子(筑波学院大学教授)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)、丸山博(元国土交通審議官)
 支部長 : 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、麓理沙(立教)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本眞一(北海道)、梅原利之(四国)、丸森仲吾(東北)、大田哲哉(中国)

【団体会員】(2008年07月25日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、イ-エムティ(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)HK エアックス、(株)E-フルシステムズ、NPO「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚ハルビ、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマンサハサジャパソリミテッド、三協立山アルミ(株)、(株)三普旅行社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、常磐興産ビル(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラル・シングシステム(株)、(株)ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、ティートレディング(株)東京支店、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トヨタネットワークソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オース・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント、日本空港ビルテック(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本フロント建設、(財)日本ホテル教育センター、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)ハロックジャパソリミテッド、(株)フィールドサービス、(株)フェイテリックホールディングス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、ブラネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルマックス、マイナミホールディングス(株)、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW
 観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13
 小田急代々木ビル3F
 電話 03(5304)9500
 FAX 03(5304)5632
 E-mail info@japannow.org
 Home page http://www.japannow.org

発行人: 白澤照雄(JN協会事務局長)
 編集長: 加納 隆(JN協会理事)
 発行部数: 3000部 主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

7月15日早朝、博多の街に「追い山」が走るのを見た。90万人が押し寄せ、大いに盛り上がっていた。私は、ざっと40年前、新幹線が開業する前に勤務したことがあるが、「博多祇園山笠」を観るのは初めて。

JN協会が14日、「観光立国フォーラムin福岡」を開催し、その取材に同行したことで、チャンスに恵まれたというわけ。あちこちの街で「人が少なくなって、祭りを維持するのが難しい」という嘆きを聞くことがあるが、さすが大都会の福岡・博多、ずいぶん多くの子どもが「追い山」に参加しているのに感心した。

JN紙7月号は、大津市長と福岡市長が登場する。福岡市長は、14日のフォーラムにも来賓で挨拶して下さったので、その流れという次第。ちょっと、編集長の勝手な紙面づくりとなった。お許しを。(加納)